



ふくし学習の手引き

こどもたちに伝えたい!
共に生きるふくし学習



社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会
ボランティアセンター

目次

はじめに	P.1
1. 「ふくし」って何だろう？	P.2
2. ふくし学習の基本的な考え方	P.3
3. ふくし学習展開のイメージ	P.4
4. より良い学習にするために	P.5
5. ふくし学習の準備から実施までの流れ	P.6
6. 体験プログラム	P.7
7. プログラム実践事例	P.18
8. 体験プログラムのほかに協力可能な社会福祉法人一覧	P.20
9. 授業で使える貸出備品（一覧）	P.21
10. 授業で使える貸出備品（申請書）	P.26
11. 講師等派遣の費用について	P.27
12. ボランティアセンターについて	P.28

はじめに

現在、学校では教科横断的な学習や「総合的な学習の時間」の一層の充実により学校・地域における「こどもの生きる力」の育成が期待されています。

また、地域では、住民自らが地域の課題を発見し、課題を「我が^わこと^{こと}と捉え「丸ごと」^{まる}地域で支え合うネットワークの構築が求められています。

そこで、所沢市社会福祉協議会では、「共に学び、共に生き、共に育つ心を育む」ふくし学習の授業に役立てていただけるよう、ふくし学習の手引きを作成しました。「ふくし学習では何をすればいいのか？」という時に、先生だけですべてを企画することは大変です。

ぜひ、所沢市社会福祉協議会ボランティアセンターに、ご相談ください。手引きに掲載したものだけでなく、地域性やその規模、参加者の年齢や関心などにより、さまざまなアレンジも可能です。ぜひ、一緒に考えていきましょう。

社会福祉協議会とは

市民の皆様と誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり(地域福祉)を進める団体です。社会福祉法第109条に規定されています。

1. 「ふくし」って何だろう？

“ふくし(福祉)”とはみんなの幸せということ

共通点は“みんなちがっても、おなじ「いのち」”

“ふくし(福祉)”とはなんでしょう？「福」・「祉」というそれぞれの言葉には、どちらも幸せという意味が込められています。

これまでの福祉では、「福祉＝高齢や障がいなどにより、生活に課題を抱えた人のもの」と捉えられ、社会的に“困っている人”や“かわいそうな人”だから、お手伝いをして“あげる”存在なのだと考えられがちでした。

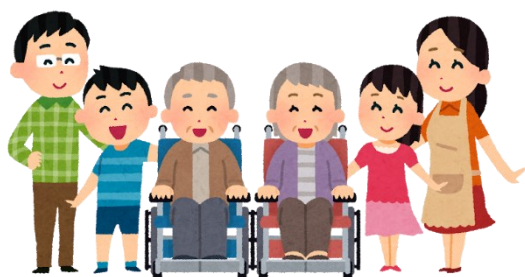
しかし、現在は“地域に住むすべての人が幸せに暮らすためにはどうしたらいいのかを考え、行動していくこと”が「福祉」と考えられています。地域には、いろいろな人が暮らしています。一人ひとりが尊重され、支え合いながら、自分らしい暮らしを実現していくことが大切です。



ふだんの



くらしの



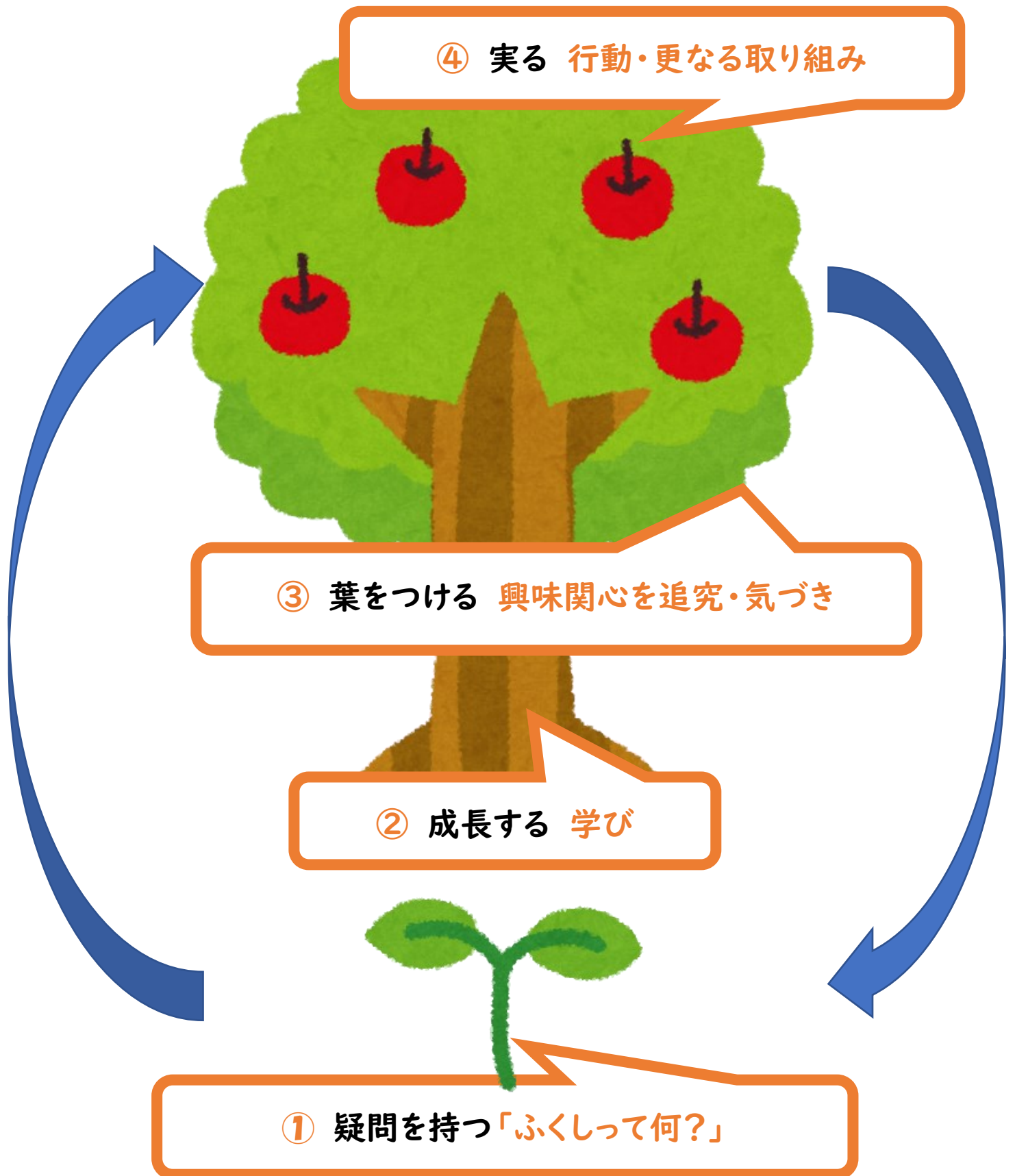
しあわせ

2. ふくし学習の基本的な考え方

ふくし学習では、技術や知識を覚えるだけではなく、“生きること”や“いのち”、“障がい”、“老い”などについて、考えていくことが今、求められています。そして、学習をすすめていくプロセスとして、地域住民や地域の福祉施設、企業等と連携・協力しながら、こどもたちを、その地域のみinnで育てていくことで、相互作用によって、地域づくりに発展していくきっかけにもなっていきます。



3. ふくし学習展開のイメージ



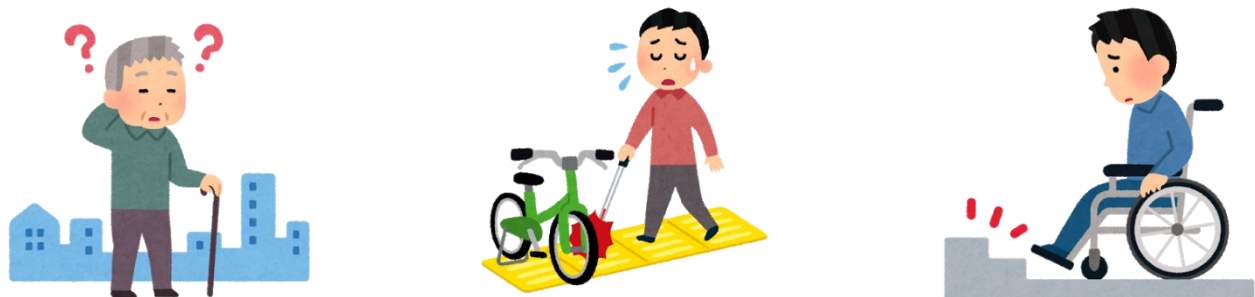
4. より良い学習をするために

ふくし学習は、車いす体験や白杖体験、高齢者疑似体験などで障がいのある人や高齢者の動きにくさを体験したり、手話や点字を覚えたりすることだけを目的に行うものではありません。

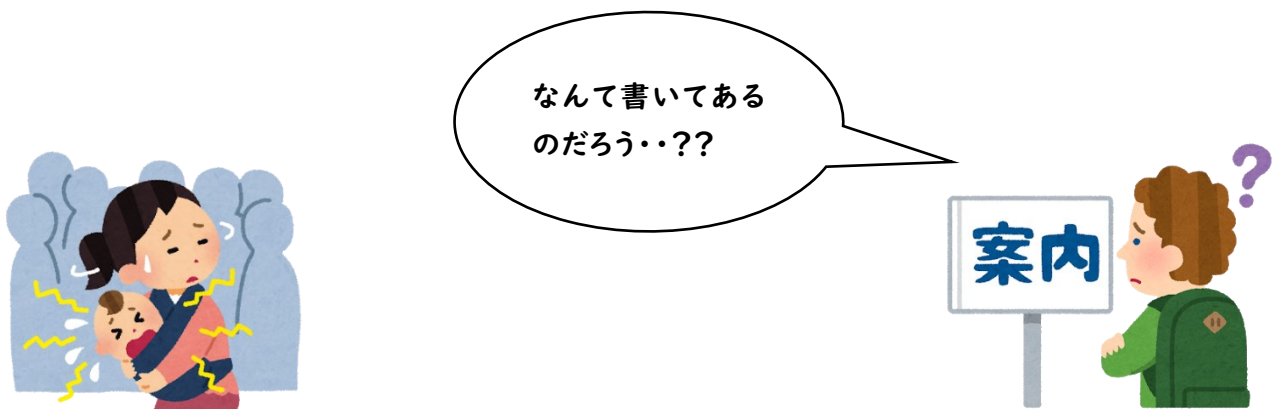
ポイント① できないからかわいそう？ ではなく、どうすればみんなと同じように生活できる？

体験学習は、外見でわかる機能障害、能力低下の理解にはつながりますが、それだけでは真の「ともに生きる」社会は実現しないのではないのでしょうか。

その機能障害、能力低下により生じる活動や参加の制約があってもできることがあると気づき、何があればみんなと同じように生活できるのかを考えていくことが重要です。



ポイント② 困っている場面は、高齢者や障がい者だけではなく、自分も含め、地域に住む人みんな。



5. ふくし学習の準備から実施までの流れ

①ふくし学習をとりあげたいな・・・と思ったら

“まずは”社会福祉協議会にご連絡ください

※実施希望の2ヶ月前までにご連絡ください。早めのご連絡がおすすめです。



②プログラム組み立ての相談

学習のねらい・希望の内容・日時・人数やこれまでの学習の様子などを

お伺いしながら、先生方と一緒にプログラムを組み立てていきます。

掲載しているプログラムの他にもリクエストに応じていますのでご相談ください。



③講師調整

社会福祉協議会が講師の調整・関係団体の調整を行います。

調整が終わりましたら、決定のご連絡をさせていただきます。



④事前打ち合わせ

担当の先生と講師が当日の段取りや必要備品などの打ち合わせを行います。

必要備品がある場合は、打ち合わせ後に備品借用を進めてください。

(備品借用方法はP.23参照)



⑤実施

いよいよ当日です。ケガに注意しながら体験を行ってください。

また、社会福祉協議会の職員が学習の様子を見に行く場合もあります。



⑥気づきと発展

学習を通して感じた、一人ひとりの「気づき」を振り返り、更なる発展へつなげ

ます。終了後に調べ学習や内容の振り返りをすると効果的です。

6. 体験プログラム

①「ふくし」ってなんだろう

体験授業の前に「ふくし」について考えることで、各体験での気づきのきっかけとなります。ぜひ、ふくし学習の最初のプログラムとしてご活用ください。

タイトル	ふくしってなあに？
内容	「ふくし」とは特別なものではなく、自分の生活そのものであることを理解し、ふくし学習に取り組むうえでの土台づくり
講師	所沢市社会福祉協議会
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	内容についての相談可



掲載しているプログラムの他にも
リクエストに応じていますので
ご相談ください。



②聴こえないということ

聴覚障がいのある講師から、普段の生活についての講話やあいさつなどの簡単な手話を通じて、聴覚障がいやコミュニケーションについて学びます。

タイトル	聴こえないってどんなこと？
内容	聴覚障がい、聴覚障がい者の生活について 当事者による講話、手話体験
講師	所沢市聴覚障害者協会・当事者の方
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン、プロジェクター等
備考	学年単位で受け付けています 交通費の負担又は可能な範囲で謝礼



タイトル	要約筆記ってなあに？
内容	聴覚障がい者への情報保障の一つで、話の内容等 その場で要約し、文字にする要約筆記についての学 び・体験
講師	要約筆記「つくし」
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン、プロジェクター等 白い紙と黒いペン(講師との筆談用)
備考	学年単位で受け付けています 交通費の負担又は可能な範囲で謝礼

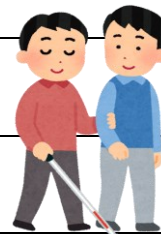


③見えないということ

視覚障がいのある講師から、普段の生活についての講話や点字体験等、視覚障がいについて学びます。

タイトル	自分の名前を点字で打ってみよう
内容	点字の成り立ちから当事者による講話と点字体験
講師	所沢点訳グループ 花みずき
実施時間	90～135分(2～3コマ) ※応相談
必要備品	点字器
備考	対象人数は2クラス(60人程度) 教材費の負担あり(点字用紙代1枚8円×人数分) 点字一覧表及び説明資料の印刷 可能な範囲で謝礼 点字器貸出最大7日間貸出可能、数に限りあり

タイトル	目の見えない人の暮らしについて
内容	当事者の方による講話、白杖体験等
講師	所沢市視覚障害者協会・当事者の方
実施時間	45～90分(1～2コマ)
必要備品	講師によってテーブルとイス、白杖
備考	交通費の負担又は可能な範囲で謝礼 白杖貸出最大7日間貸出可能、数に限りあり



④車いすで生活すること

車いすで生活する視点や気持ちについて伝えます。

タイトル	車いすの生活を知ろう
内容	車いすに乗って授業を受けたり、休み時間を過ごす
講師	学校の先生方
実施時間	学校の予定に合わせて
必要備品	車いす
備考	車いす最大7日間貸出可能、台数に限りあり

タイトル	車いすに乗ってみよう
内容	体育館等での車いす体験
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45～90分(1～2コマ)人数による
必要備品	車いす
備考	車いす最大7日間貸出可能、台数に限りあり

⑤ 高齢者になるということ

高齢者について学び、地域で共に暮らす中で「支え合いの気持ち」を育みます。

タイトル	認知症ってなんだろう？(認知症サポーター養成講座)
内容	認知症についての基本的な知識と認知症の方への対応の仕方等について
講師	キャラバンメイト
実施時間	45～50分程度(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	場合によって資料の印刷あり 認知症サポーター養成講座受講後は、「認知症サポーター証」を授与



タイトル	高齢者の心と体って？
内容	高齢者の心と体の特徴や仕組みについての講義。 地域の高齢者の方をゲストに招いて、普段の生活や体の変化について学ぶ。
講師	地域包括支援センター・所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45～90分程度(1～2コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	疑似体験グッズ最大7日間貸出可能、数に限りあり 疑似体験は1クラス単位で複数人のグループで実施

⑥発展型の授業

「ふくし」について様々な視点から学び考えます。

タイトル	こどもたちの障がいに対する理解が深まる人形劇
内容	障がいのある人形と、障がいのない人形と一緒に劇を演じ、子ども達と障がいについて対話をする対話型人形劇。子どもたちが、人形たちとの対話を通して、バリアフリー意識を獲得していく
講師	NPO 法人バリアフリー・アートの会 わーくぽけっと
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	長テーブル7台、延長コード
備考	テーマ相談可 交通費負担又は、可能な範囲で謝礼 (暗幕がはれる場所があれば使用したい)



タイトル	障がいの考え方が変わる! ^{Disability Equality Training} DET 研修
内容	障がいのある当事者がファシリテーターとなり進めるワークショップ型の研修。社会の中にある様々な「障害」と解決のための「行動」について考える
講師	DET 埼玉
実施時間	90分(2コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター。VGA ケーブル 10m 以上必要(備品借用申請可能)
備考	交通費(5,000円)



タイトル	自分に何ができるか考えてみよう!
内容	グループに分かれ、カードに書かれた内容を見て、相互にたすけあいができるように意見を出し合うカードゲーム。助け合い・支え合いについて学ぶ。
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45～90分(1～2コマ)
必要備品	たすけあいゲームカード
備考	スクリーン・プロジェクター等 ゲームは、6～8人位のグループで実施 体育館等広いスペースが必要

タイトル	地域のためになる活動って何だろう?
内容	地域のために活動している団体等の方にお越しいただき、地域で取り組まれている様々な活動について知る
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45～90分(1～2コマ)
必要備品	長テーブル・椅子等
備考	地域で活動する複数の方々の協力により実施 そのため、早めの相談が必要

タイトル	地域の福祉施設で働く人たち
内容	福祉施設等の見学、利用者交流
講師	福祉施設職員
実施時間	45～90分(1～2コマ)
必要備品	季節によってはマスクの着用が必要
備考	一度に多くの人数を受け入れることは難しいため、クラス単位等で複数回に分けての実施となる可能性があります。

タイトル	みんなでエンジョイ!ユニバーサルスポーツ
内容	ボッチャ 他
講師	埼玉県障がい者スポーツ指導者協議会
実施時間	90分(2コマ)
必要備品	要望に合わせて応相談
備考	交通費の負担又は可能な範囲で謝礼 ボッチャ最大7日間貸出可能、台数に限りあり



タイトル	ふくしの仕事について知ろう!
内容	ふくしの仕事について、理解を深めます。
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	地域・高齢・障がい・貧困・児童等、各分野のふくしの仕事に対応可能



タイトル	ケアラー、ヤングケアラーについて
内容	身近な人に対して、介護や日常生活上の援助をする人についての理解を深めます。
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	内容についての相談可


タイトル	ボランティアってなあに？
内容	ボランティアの原則から心構え、どんなボランティアがあるのかを学びます。
講師	所沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 他
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	内容についての相談可



タイトル	赤い羽根共同募金～じぶんの町を良くするしくみ～
内容	赤い羽根共同募金について
講師	所沢市社会福祉協議会
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	毎年10月1日から赤い羽根共同募金が始まっています。募金活動を行う場合には、必要な資材もご用意いたします。



タイトル	SDGsについて知ろう!
内容	SDGsの17の目標から、福祉に関する目標を知り、普段過ごしている地域で、どんなことが出来るかを考えます。
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	内容についての相談可



タイトル	LGBTQについて
内容	自分らしく生きるということ、多様性について理解を深めます。
講師	所沢市社会福祉協議会 他
実施時間	45分(1コマ)
必要備品	スクリーン・プロジェクター等
備考	

7. プログラム実践事例

ふくし学習の事例 ～A 小学校編～

対象：4クラス 120名程度 プログラム数：7

授業数：総合的な学習の時間（5コマ程度）＋ その他の時間 事前打ち合わせ：あり

学校の意向：自分たちは不自由なく暮らしている。しかし、そうでない人もいる。自分たちの町がどうなると良いか、共存していく視点を学び、行動の変化が現れるようにする。

流れ	内容	講師
事前打ち合わせ ↓	学校の意向の確認、社会福祉協議会（以下、社協）で提供できる内容の確認を行い、ふくし学習の組み立てについて打ち合わせを行います（必要に応じて随時行います）。	
ふくしってなあに？ ↓	ふくしとは何か、「障がい」だけでなく「誰に対しても」相手の立場に立って考えて行動する視点を学びます。	社協
福祉に関するDVDの鑑賞 ↓	DVD鑑賞を通して、視覚障がい、聴覚障がい、車いす利用の方への接し方を学びます。	社協または学校
授業や休み時間など、生活の中で車いす体験 ↓	社協で車いすを借用し、授業や休み時間を車いすで過ごします。生活の中で車いす利用者の視点を、体験を通して学びます。	学校
白杖体験 ↓	学校内で白杖体験を行います。（社協で白杖の貸出しができます。当事者の講師の派遣も可能です。）	社協または学校
聞こえない私の生活～工夫しないでなんとかなるさ～ ↓	聴覚障がい者の生き立ちや生活について当事者から話を聞きます。また、スーパーのタイムセールの事例を通して、どのように聴覚障がい者へ伝えるのか、自分にもできる工夫を学びます。	当事者講師及び社協
調べ学習 ↓	学校の図書館にある書籍や社協のユニバーサルデザインのグッズ等を用いて、身近な福祉について自分の興味関心に合わせて学習を深めます。	学校
まとめ	振り返りやまとめ、発表等を行い、更なる発展へとつなげる。	学校



ふくしってなあに？の様子



福祉に関するDVD鑑賞の様子



聞こえない私の生活の様子

先生の声

改めて、日々の生活での小さな気遣いや支え愛が重要であると感じました。生徒たちの豊かな心を育てる良い学習になりました。

ふくし学習の事例 ～B 中学校編～

対象：6 クラス 220 名程度 プログラム数：5

授業数：総合的な学習の時間（8コマ程度） 事前打ち合わせ：あり

学校の意向：みんなが幸せに生活ができ、暮らしやすい社会を作るために、自分にできることを一人一人が主体的に考え、行動する力を育む。

流れ	内容	講師
事前打ち合わせ ↓	学校の意向の確認、社協で提供できる内容の確認を行い、ふくし学習の組み立てについて打ち合わせを行います（必要に応じて随時行います）。	
私たちのふくし ↓	ふくしとは何か、「ふだんの暮らし」の中にある地域との関係、支え合いについて学びます。	社協
DET 研修 (2 コマ) ↓	車いすを利用している講師から、障がいとは何か、車いす利用の方の生活について学ぶ。	当事者 講師
聞こえない私の生活 ～工夫しだいで なんとかなるさ～ ↓	聴覚障がい者の生き立ちや生活について当事者から話を聞きます。また、スーパーのタイムセールの実例を通して、どのように聴覚障がい者へ伝えるのか、自分にもできる工夫を学びます。	当事者 講師及び 社協
助け合いゲーム (2 コマ) ↓	助け合いゲーム（カードゲーム）を活用しながら、支え合いとは「できるの交換」であることを学びます。	社協
認知症サポーター養成講座 (2 コマ)	認知症や対応方法について学びます。地域住民にも寸劇の協力をお願いして行います。	社協、地域包括支援センター、地域住民
まとめ	ワークシートを用いて、ふくし学習の振り返りとまとめを行います。	学校



DET 研修の様子



助け合いゲームの様子



認知症サポーター養成講座の様子

先生の声

“ふくし”という言葉を目の当たりにし、「難しいのかな?」「何の話だろう?」と最初は戸惑いを見せていた生徒たちが、「なんだ、私にもできるかも!!」となった瞬間が心に残っています。決して難しいものではなく、誰にでもできる支え合い活動だと気づけたことで、今後どのように生徒たちが人々と触れ合っていくかが楽しみです。

先生の声

ふくし学習を通して、生徒自身が多くの人に支えられていることに気づくと同時に、生徒もまた身近な誰かを支えていることを知ることができた良い時間だったと思います。

8. 体験プログラムのほかにふくし学習に協力可能な社会福祉法人一覧

高齢・障がい・児童分野でそれぞれ協力可能な社会福祉法人をご紹介します。まずは、ボランティアセンターまでご相談ください。

法人名

ゆうき福祉会	(障がい分野)
藤の実会	(障がい分野)
皆成会	(障がい分野)
有徳会	(児童分野)
法水会	(児童分野)
太陽会	(児童分野)
安心会	(高齢分野)
天佑	(高齢分野)
博寿会	(高齢分野)
聖久会	(高齢分野)
端午会	(高齢分野)
栄光会	(高齢分野)
向日葵会	(高齢・児童分野)





所沢市社会福祉協議会が運営する施設

所沢市立かしの木学園	(児童発達支援事業)
所沢市立きぼうの園	(就労支援B型事業所)
所沢市立こあふる	(生活介護事業所)
所沢市立プロペラ	(生活介護事業所)





9. 授業で使える貸し出し備品（一覧）

ふくし学習に役立つ備品の貸出を行っています



点字に関するグッズ

	<p>【点字器】 点字を打つための器械です。点字用の紙を挟んで使用します。 ※129台</p>
	<p>【点字カレンダー】 全ての文字や数字が点字で記されています。</p>
	<p>【点字料理本】 全ての文字が点字で記されていて、また本書の内容を音声で聞くことができます。 ※4冊</p>
	<p>【バリアフリー絵本 さわってごらん だれのかお?】 さわる絵本 よ〜いどん! 全ての文字が点字に記されています。※2冊</p>

音声ガイド付きグッズ




	<p>【目覚まし時計】 時刻、カレンダー、温湿度などを音声ガイドによって操作することができます。 ※1台</p>
	<p>【計算機】 音声ガイドによって操作することができます。※2台</p>
	<p>【トーキングウォッチ】 ボタンを押すだけで現在時刻をお知らせします。時刻やアラームの設定が音声ででき、時報機能やスヌーズ機能も付いています。12時間、24時間表示切替可能。※1台</p>
	<p>【おしゃべり温湿度計】 手のひらに載るサイズのライオンの形をした、音声と光でお知らせする温湿度計のおもちゃです。熱中症やインフルエンザ対策に、お部屋の光センサーとしてもお使いいただけます。</p>

ユニバーサルデザインのグッズ






	<p>【ユー・ウイング】 物を描く時に、芯がぶれずに固定されているペンです。 ※1本</p>
	<p>【触読用ものさし（弱視共用）】 触読用の物差しに、弱視の人が見やすいように本体の色を明るい紺色にし、数字、目盛は白色で印刷したものです。</p>

	<p>【ワンタッチポット】 ひとふりで、スプーン一杯(約 3g)のお砂糖を出すことができます。 ※1つ</p>
	<p>【計量カップ】 200ml、100ml、50ml の3種類の計量カップを用途にあわせて使い分けることができます。※1つ</p>
	<p>【ユニバーサルペン】 物を描く時に芯がぶれずに固定されているペンです。 ※1本</p>
	<p>【大回転オセロ】 盤とオセロ石が一体になっています。盤の1マスずつが回転するようになっており、マス回転させる事によって黒の石、白の石、盤面と変える事が出来ます。 ※1つ</p>
	<p>【ルービックキューブ ユニバーサルデザイン】 各面に異なる触覚記号がついており、指先で面を識別しながら遊ぶことができるルービックキューブです。触覚記号はシールではなくプレート埋め込み方式です。</p>
	<p>【鈴入りサッカーボール】 ボールに鈴が入っているので、視覚障害のある方もサッカーを楽しむことができます。※1つ</p>
	<p>【サウンドテーブルテニス シェークハンド】 サウンドテーブルテニス (S.T.T) 用の角型ラケットです。</p>
	<p>【サウンドテーブルテニスボール直径40mm】 サウンドテーブルテニス (S.T.T) 用のプラスチック製ボール。中に金属球が入っており、転がすと音がでます。色はオレンジ。</p>
	<p>【教科書】 従来の教科書よりも文字が大きく記されています。 ※3冊</p>



防災に関するグッズ

	<p>【非常持ち出しぶくろを考えてみよう!】 非常時に必要な物を、カードを用いて学ぶことができます。 ※30セット</p>
	<p>【ぼうさいDuck】 災害が起きてしまったときにどのような行動をとればよいのかについて、カードゲームを通して学ぶことができます。※1セット</p>
	<p>【AED+CPR トレーニングキット】 本物の AED と類似した疑似 AED によって、簡単に AED の使い方を学ぶことができます。※1セット</p>




ふくし学習全般





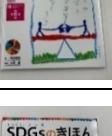



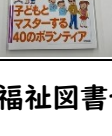
	<p>【福祉教育ワークブック わくわくワーク】 かるたや写真、まちあるきを通して、福祉を学ぶことができる教材です。 ※1セット</p>
	<p>【地域活動参画への気づき・きっかけづくり・仲間づくりのためのツールキット】 カードゲームを通して、社会参加、地域活動参画への気づき、きっかけを促し、地域協働への視点を養うことができます。 ※1セット</p>
	<p>【車いす】 ※21台</p>
	<p>【白杖】 ※33本</p>
	<p>【ポッチャ】 ※2セット</p>

DVD

	<p>【バリアフリー社会を考えるシリーズ「目の不自由な人に出会ったら」】(12分) 【バリアフリー社会を考えるシリーズ「耳の不自由な人に出会ったら」】(11分) 【バリアフリー社会を考えるシリーズ「車いすの人に出会ったら」】(11分)</p> <p>街にはまだまだ障がい者の行動を妨げるバリアがたくさんあります。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験と、障がいのある方の声から、バリアフリーへの意識を高めます。</p>
	<p>【補助犬って何?】 盲導犬・介助犬・聴導犬をパートナーにしている方々の暮らしを取り上げたDVDです。(19分)</p>

福祉図書セット(内容)

	<p>【補助犬ってなあに?クイズブック(A6サイズ)】 補助犬のお仕事等をクイズ形式にして紹介するパンフレットです。お子様にもわかりやすい内容となっています。</p>
	<p>【みえるとかみえないとか】 みんなが感じている「当たり前」を見直す機会を与えてくれる絵本。</p>
	<p>【みんなのユニバーサルデザイン 全6巻】 ユニバーサルデザインってなんだろう?誰もが暮らしやすい社会にするには? 家族のこと、自分の住む町のこと、交通、買い物、旅行など、身近な例からユニバーサルデザインの考え方をわかりやすく伝えるシリーズ。</p>

	<p>【ちがってなんだ？】 車いす利用者の目の前にある段差。このとき「障がい」となっているのはなんだろう？障がいについて正しく学び、お互いの理解を深められる。</p>
	<p>【調べよう！バリアフリーと福祉用具 全5巻】 体が不自由な人も、さまざまな仕組みや用具を使って、活動的に暮らせます。バリアフリーの社会について知り、考える本です。</p>
	<p>【こどもSDGs (エスディーズ)】 SDGsと世界が直面する解決すべき問題、そして私たちの生活との関連をわかりやすく解説した本です。専門的な言葉もやさしく説明しているので、大人にもわかりやすい内容になっています</p>
	<p>【SDGs (エスディーズ) のきほん 未来のための17の目標】 全世界が2030年までに達成すべき目標SDGs。SDGsとはなにか、なぜ今SDGsが必要なのかを知るための入門書です。</p>
	<p>【SDGsのきほん 貧困 目標1】 目標1「貧困をなくそう」の内容や、世界の貧困の現状と原因など、基礎知識がこの1冊でわかります。</p>
	<p>【SDGsのきほん 飢餓 目標2】 目標2「飢餓をゼロに」の内容や、世界の貧困や飢餓の現状と原因など、必要な基礎知識を知ることができます。</p>
	<p>【SDGsのきほん 健康と福祉 目標3】 目標3「すべての人に健康と福祉を」について取り上げます。世界の医療や福祉の現状と課題、また現在猛威をふるう感染症についてなど、必要な基礎知識を知ることができます。</p>
	<p>【SDGsのきほん 不平等 目標10】 目標10「人や国の不平等をなくそう」の内容や、世界や日本における格差や差別の実態と背景について必要な基礎知識を得ることができます。</p>
	<p>【SDGsのきほん まちづくり 目標11】 目標11「住み続けられるまちづくりを」の内容や、災害に強いまちづくりや都市への人口集中問題についてなど、必要な基礎知識を得ることができます。</p>
	<p>【どんなかんじかなあ】 相手になることはできませんが、相手の立場になって考えることはできます。そして、色々なことに気付きます。そこには、思いやりと想像力があります。大事なことに気付かされる、そんな絵本です。</p>
	<p>【理解しよう、参加しよう福祉とボランティア 全3巻】 「福祉」の意味や歴史、新しい考え方、現場で働く人々へのインタビュー、ボランティアの参加の仕方などを紹介。</p>
	<p>【イラスト版からだに障害のある人へのサポート】 からだに障害のある人とのコミュニケーションをまなぶ。望ましいサポートの基本が身につく。ノーマライゼーションのありかたを考えるための実践書。</p>

※福祉図書セットの中身は変更になることがあります。

備品借用方法について

- 貸出手順
- ① 社会福祉協議会に在庫確認の連絡を入れ、備品借用を予約する。
 - ② 備品借用申請書を提出する。(持参または FAX)
※本誌 26ページのものをご活用ください。
 - ③ 貸出期間が来たら来所し、備品を受け取る。

- 返却手順
- ① 使用后、備品の破損がないか確認する。
 - ② 貸出期間内に返却する。
- ※ 器具の消毒をお願いします。

貸出期間 原則最大7日間まで



10.授業で使える貸出備品（申請書）

様式第1号

所沢市社会福祉協議会会長 様

備品借用申請書

申請日	年 月 日 ()
団体名	
申請者	
住所	
Tel/Fax	

下記の備品を借用したいので、申請します。

なお、備品の使用にあたっては、備品貸出要綱及び注意事項を遵守いたします。

借用備品	備品名	借用個数	備品名	借用個数
借用期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()			
使用目的				

注意事項（必ずお読みください）

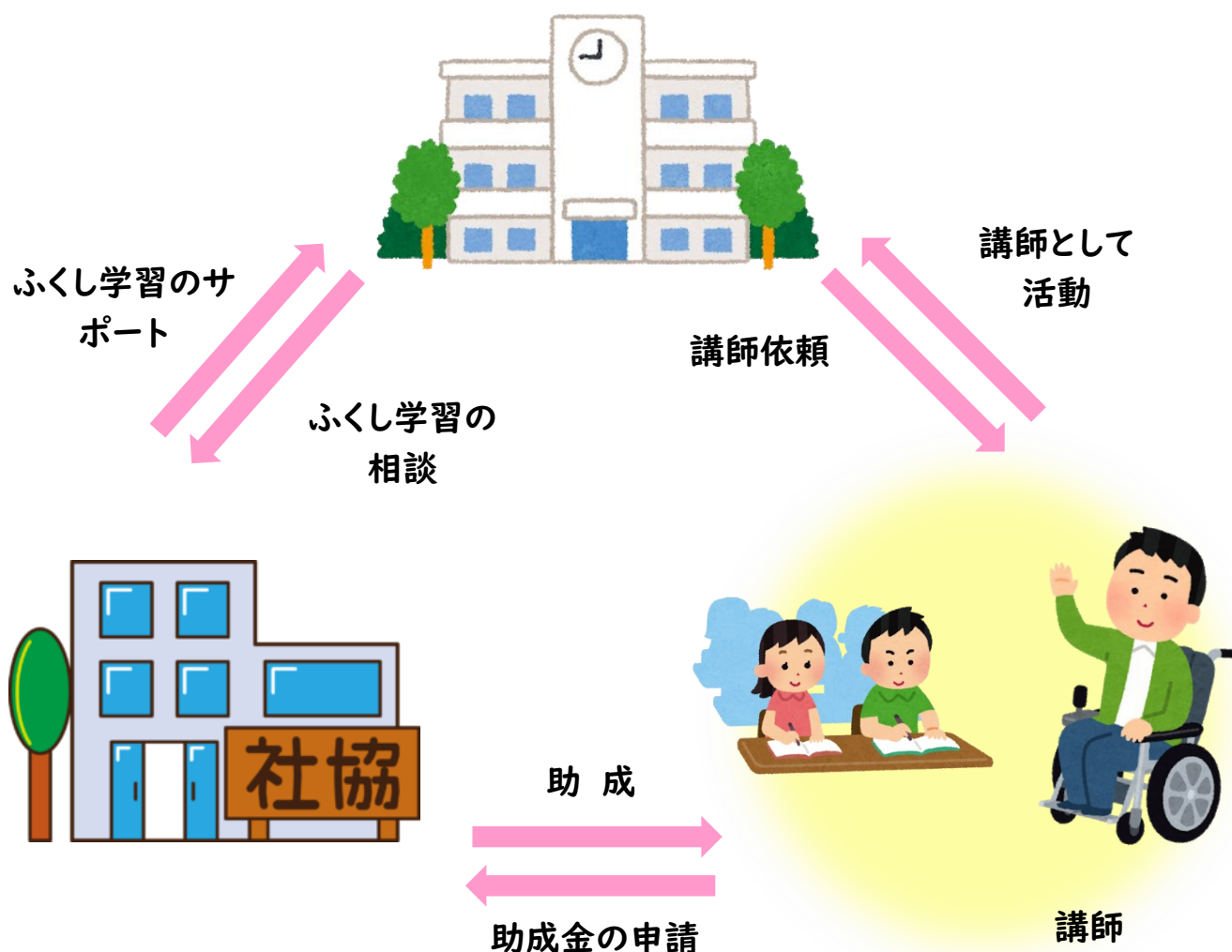
- ◎器材は、破損・紛失・汚れ等には、十分注意してください（この場合は申請者の責任とします）。
- ◎借用期間は最大7日間です。なお借用期間中に、申請団体以外が使用することは出来ません。
- ◎器材によっては、乾電池等が必要なものもありますので事前にご用意ください。

課長	主査	主任	担当

11. 講師等派遣の費用について

ふくし学習に携わる外部講師等に対し、費用の一部を助成する「ふくし学習推進助成事業」を実施しています。

ふくし学習を実施したいけれど、講師への謝礼等の予算を確保することが難しいことから、実施ができないという場合には、ぜひボランティアセンターへご相談ください。



12. ボランティアセンターについて

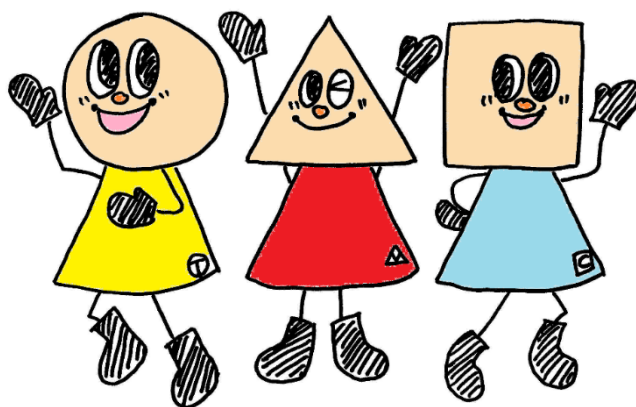
ボランティアセンターはボランティア活動を行いたい人と、ボランティアにお手伝いを希望する人をつなぐ調整役を担っています。

その他、ボランティアに関する情報発信や、ボランティア活動に関する相談・手続き、各団体との調整など、市民のみなさま誰もが、ボランティア活動に参加でき、“豊かな心で健やかに自分らしく暮らせる支え合いのまちづくり”を目指しています。

地域の子ども達を地域のみinnで育てていくことができるよう、地域福祉を推進する社会福祉協議会の強みを活かした、プログラムの組み立てや講師の調整ができればと思います。

ふくし学習をすすめる際には、ぜひ本誌をお役立ていただき、お気軽に所沢市社会福祉協議会ボランティアセンターへご相談ください。





所沢市社会福祉協議会ボランティアセンター 非公式キャラクター
まるさん・さんかくさん・しかくさん

社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター

住 所: 所沢市泉町 1861-1

所沢市こどもと福祉の未来館 3 階

電 話: 04-2925-0041

FAX: 04-2925-3419

メール: 0041m@toko-shakyo.or.jp

HPアドレス: www.toko-shakyo.or.jp

【令和5年5月作成】